

[13] 延岡市小体連

(学校数27校 児童数6,141名)

I 年間事業

	事業名	事業内容	会場
5月7日(金)	第1回理事会	○ 会計予算審議 ○ 活動計画及び事業計画審議 ○ 役員選出	北浦小
6月10日(木)	第2回理事会	○ 器械運動教室内容審議 ○ 本年度の研究計画について	北浦小
8月3日(火)	器械教室運動前日準備	○ 器械運動教室会場設営 ○ 指導方法確認	東小
8月4日(水)	令和3年度 延岡市器械運動教室		東小
10月28日(木)	第3回理事会	○ スポーツフェスタについての審議 ○ 器械運動教室反省 ○ 授業研究会事前研	北浦小
11月26日(金)	第4回理事会	○ 研究授業 3年器械運動(跳び箱) ○ 授業研究会	一ヶ岡小
12月9日(木)	スポーツフェスタ 前日準備	○ 会場設営 ○ 役員打合せ	西階陸上 競技場
12月10日(金)	令和3年度 延岡市小学校 スポーツフェスタ	○ 陸上、野球、サッカー、タグラグビー、生涯スポーツ、50M走	西階陸上 競技場及び その周辺の 競技場
2月25日(金)	第5回理事会	○ 年間事業反省	北浦小

II 事業部のあゆみ

1 器械運動教室

- (1) 大会名 令和3年度延岡市器械運動教室
- (2) 期 日 令和3年8月4日(水)
- (3) 会 場 延岡市立東小学校
- (4) 参加者 延岡市立の小学校に通う3・4年生の希望児童 33名
- (5) 内 容 マット運動(前転・後転) 跳び箱(開脚跳び)
- (6) 実施方法 ○ 33名の児童を8班に分け、少人数での実技指導を行う
- (7) 日 程 ○ 開講式 9:00
○ 実技指導 9:20
○ 閉講式終了 11:30
- (8) 表 彰 参加児童全員に、修了証を配付する
- (9) 反 省 (成果と課題)
 - コロナ感染症対策として人数制限を設けたことにより、少人数で実施でき、十分な個別指導を行うことができた。
 - 少人数で実施できたことにより指導が充実し、一人一人の伸びが感じられた。
 - 人数制限を設けなければ次年度以降は人数が増えることが考えられる。熱中症対策を本年度以上に行わなければならない。

2 スポーツフェスタ

- (1) 大会名 令和3年度延岡市小学校スポーツフェスタ
- (2) 期 日 令和3年12月10日(金)
- (3) 会 場 西階陸上競技場及びその周辺の競技場
- (4) 参加者 延岡市立の小学校に通う6年生児童(一部5年生児童を含む)
- (5) 種 目 ○ 50M走及び生涯スポーツ(全員)
○ 陸上、野球、サッカー、タグラグビー(選択)
- (6) 実施方法 ○ 地域の方々に講師を依頼し、様々なスポーツに親しむ。
○ 延岡市の小学校27校を集め、1日開催で行う。
- (8) 反省(成果と課題)
 - 地域の方に指導者として協力していただき、充実したスポーツフェスタであった。
 - 運動量も十分に確保され、児童も様々な競技に触れることができた。
 - 12月開催ということで、寒さ対策が必要であった。開催時期を考えていかなければならない。

3 体力向上の取組

- (1) 期 日 令和4年1月～2月
- (2) 対 象 延岡市内の小学校に通う児童
- (3) 内 容 なわとび運動(8の字跳び)
- (4) 取組内容 ○ 延岡市小体連なわとびカードの活用
○ 延岡市なわとび大会の実施
- (5) 成果と今後の見通し
 - 「延岡市なわとび大会」を行い、校内及び学校間で競い合いながら体力を高めている。
体づくり運動における内容が縄跳びを使った運動に偏りが見られる学校もあるということで、体育の授業の準備運動として縄跳びを行ったり、昼休みに練習を行ったりすることの共通理解を図った。学校によっては「縄跳びチャレンジ」と称して学校で賞状を準備し、体力向上を目指すだけでなく、学校の一体感を高める取り組みを行っているところもある。

III 研究部の歩み

1 本年度研究主題

健やかな心と体を育み、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習の在り方
～探求的・協働的な学びのある指導の工夫を通して～

2 研究の基本的な考え方～探求的・協働的な学びのある体育科学習とは
延岡市小体連では、探求的・協働的な学習を以下のように捉えている。

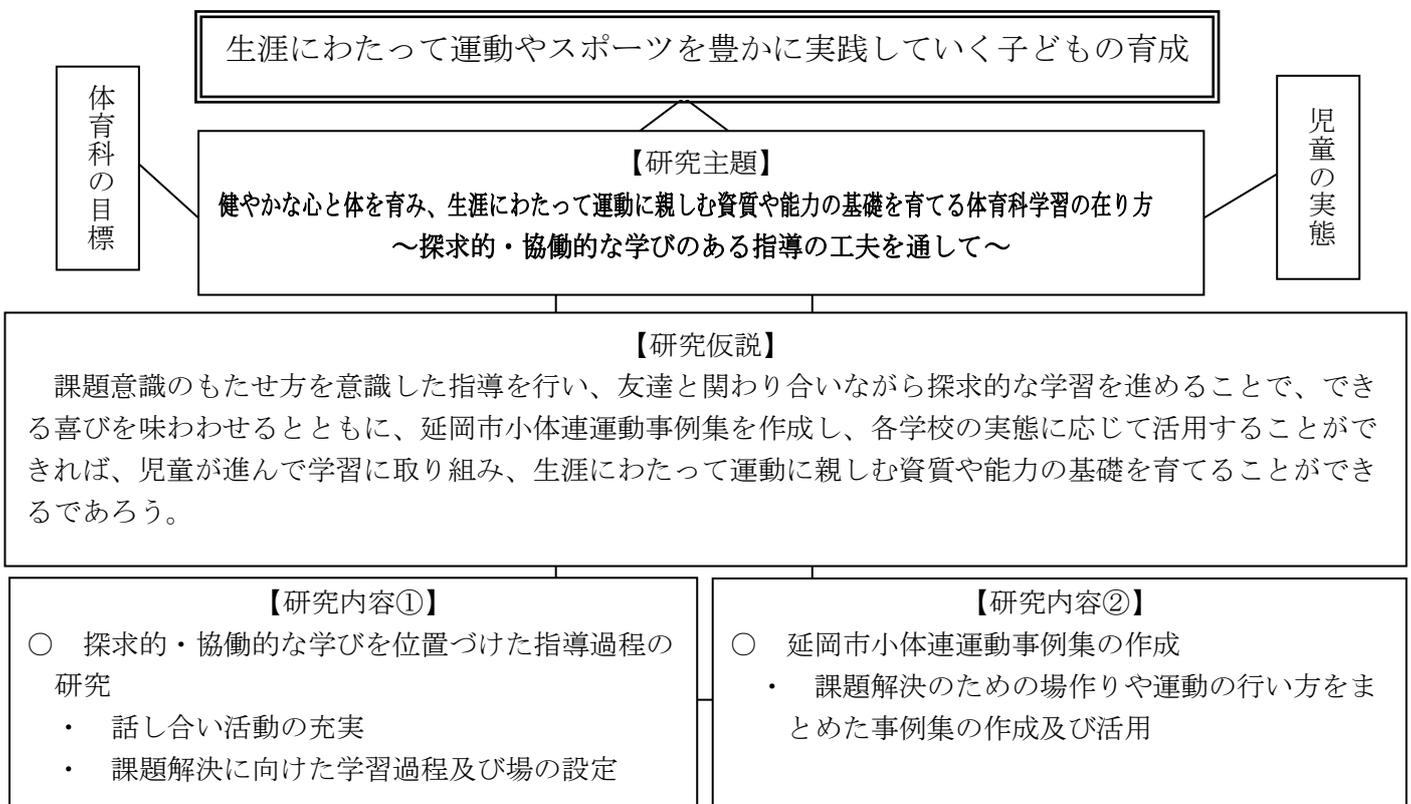
○ 探求的な学習とは

運動やスポーツの楽しさや健康の意味及びそれらの価値をふまえ、運動や健康についての自らの課題に気付き、その課題解決に向けて試行錯誤を繰り返しながら学びを進めること

○ 協働的な学習とは

運動・スポーツや健康について、自らの課題の解決に向けて児童同士、児童と教師、さらに児童と知識がかかわり合いながら、話し合ったり、教え合ったりして学びを深めていくこと

3 研究の構想（研究の仮説、研究内容）



4 研究の実際

(1) 授業研究会「探求的・協働的な学び」を意識した授業づくり

令和3年11月26日（金）に授業実践を行い、研究仮説の検証を行った。

領域	単元名	学年	授業者
器械運動	跳び箱運動	3 学年	一ヶ岡小学校 牧野光太郎 教諭

中学年の器械運動では、低学年の器械・器具を使つての運動遊びの学習を踏まえ、器械運動の楽しさや喜びに触れるとともに、基本的な動きや技を身に付けることによって、高学年の器械運動の学習に繋げていくことが求められる。また、運動を楽しく行うために、自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫したり、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりする姿勢を身に付けることが大切である。

本単元「跳び箱運動」の学習では、タブレットを用いて互いの技の様子を撮影し、それをもとに成果や課題、課題に対する助言を交流させることで、自己の運動の課題を明確に把握させた。また、それぞれの児童がもつ運動の課題を解決するための場を複数設定し、選択させて運動を行わせることで、自己の課題の解決に向けて適切な場で技能を高めることができるようにした。

本単元は8時間で計画され、5時間目の授業を研究授業として設定した。

第5時では目標を「自分の課題に合った練習の場で台上前転ができるようにする。」と設定し、特に、台上前転ができるようになるためのポイントとして、腰をより高く上げることに着目させて自己の課題の解決や技能の向上を目指した。

はじめの段階では、前時の学習を振り返るとともに、腰を高く上げることが、美しい台上前転につながることを確認することで、本時のめあてを共有した。

なかの段階では、「跳び前転の場」、「腰を上げる練習の場」、「跳び箱の上で回る感覚をつかむ場」をそれぞれ複数用意し、自己の運動の課題をもとに場を選択させた。「跳び前転の場」においては、ケンステップを活用し、頭を置く位置と着地の位置を示すことで、腰をより高く上げて回転する感覚をつかませた。また、「腰を上げる練習の場」では、マット3枚重ね、5枚重ね、7枚重ねの3つの場を用意し、左右から転落する恐怖心を軽減しつつも、より跳び箱に近い高さで腰を高く上げる感覚作りを行った。「跳び箱の上で回る感覚をつかむ場」は、実際に台上前転を行う場として設定し、自己の成果を確かめることができるようにした。それらの場を用意し、それぞれの場の意図を理解させることで、児童は運動の課題をもとにそれぞれの場を選択しながら運動を行うことができた。その際、タブレットで撮影した動画を活用して課題を見付けたり、助言をし合ったりする姿が見られるなど、探究的・協働的な学びをすることができた。

おわりの段階では、「腰を高く上げることができたか」という視点とともに、児童それぞれが立てた自身のめあてについてふりかえりを行い、気付いたことを共有することで、台上前転を行うためのポイントを児童の言葉から引き出すことができた。

(2) 延岡市小体連運動事例集の作成について

延岡市では例年8月に、運動が苦手な児童を対象に、開脚跳び、前転、後転ができるようになることを目標に器械運動教室を行っている。例年では、市内各校から多くの教員が指導者として参加しているが、今年度はコロナ渦のため、指導者の人数を制限しての実施となった。そこで、今年度の器械運動教室で指導した内容や手立て、場の活用の在り方を撮影・編集し、事例集としてまとめ、各校に配付することで器械運動の指導に生かすことができるようにした。

5 研究の成果 (○) と課題 (●)

- タブレットの活用や課題解決に向けた運動の場の設定を行うことで、探究的・協働的な学びを行うことができた。
- 延岡市小体連運動事例集を作成し、配付することで、前転、後転、開脚跳びの指導アイデアについて提案することができた。
- 個人の技能の高まりについての評価の在り方については、今後検討が必要である。
- 延岡市小体連運動事例集については継続的に作成・発信をする必要がある。

時間	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8
指導内容	・基本的な技の確認。 ・腰の準備や片付けを協力する。	・跳び箱運動の練習の仕方。 ・腰の準備や片付けを協力する。	・跳び箱運動の練習の仕方。 ・動きのよさを伝え合う。	・跳び箱運動の練習の仕方。 ・自分の能力に適した練習の場を選ぶ。	・基本的な技を高める。 ・自分の能力に適した練習の場を選ぶ。	・基本的な技を高める。 ・自分の能力に適した練習の場を選ぶ。	・基本的な技を高める。 ・自分の能力に適した練習の場を選ぶ。	・基本的な技を高める。 ・自分の能力に適した練習の場を選ぶ。
学習活動	0 オリエンテーション 1 場の準備を行う。 2 準備運動を行う。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。	1 用具や場の準備 2 準備運動をして、補助運動に取り組み。
評価	ワークシート	観察	観察・ワークシート	観察	観察・ワークシート	観察	観察	観察・ワークシート
準備物	跳び箱、マット、跳切板、ローター板、学習カード、タブレット端末							

【資料1】単元計画表



【資料2】跳び前転の場



【資料3】腰を上げる練習の場



【資料4】跳び箱の上で回る感覚をつかむ場



【資料5】撮影した動画をもとに学び合う児童



【資料6】運動事例集